

赤十字奉仕団だより

赤十字の基本原則

第43号

人道、公平、中立、独立、奉仕、単一、世界性



写真 (左上) ツエーゲン金沢赤十字応援試合(青年奉仕団) (右上) 金沢地区赤十字のつどい(金沢市地区奉仕団)
(中央) 大雨災害復旧支援活動(北陸大学奉仕団)
(左下) 大雨災害復旧支援活動(能美市奉仕団) (右下) ACTION! 無病息災(かほく市奉仕団)

8月3日からの大雨災害

令和4年8月3日からの大雨災害により、石川県内も多くの方が被災されました。県内の奉仕団も復旧に向け各地で活動を行いました。

・大雨被災地（能美市）で復旧支援活動を実施して

能美市赤十字奉仕団チーム20 委員長 田中 策次郎

8月3日からの豪雨により被災された能美市寺畠町で支援活動を行いました。寺畠町の被災住宅は約40軒で、ほとんどの家が床上浸水の状況でした。5日に災害ボランティアセンターから支援要請があり、6日の朝から11日まで能美市赤十字奉仕団員のべ40人が連日災害ボランティアセンターの運営補助と現場作業を行いました。被災地での災害ボランティア経験のある奉仕団員の指示でサテライトや現場での作業に能美市赤十字奉仕団が中核的な役割を担いました。今回の災害支援で、活動には日頃からの経験と知識が大切だと改めて感じました。この経験を活かし奉仕団員が被災地支援にそれぞれリーダーシップを取れるようになればと思います。



・大雨被災地（小松市）で復旧支援活動を実施して

北陸大学学生赤十字奉仕団 大坪 慎太郎

私たち学生奉仕団は8月7日、加賀地区での大雨災害被害地にて復旧・復興を手伝うため、災害ボランティアとして泥かきや清掃、浸水して水を含んでしまった畳や家具などの移動を行った。地元である石川県内の被災地で災害ボランティアとして活動できたことがとても良い経験となった。ボランティアを依頼している住民の多くは高齢者で、活動の中心は力仕事であるため、若者や力がある人が必要であり、ボランティアの大切さを改めて感じた。このような活動を通して地域の方々のために貢献することができ、一つ自信を持てて嬉しく思えた。今回の活動を基に、これからもボランティア精神を忘れず、幅広い分野で人々の一助になりたいと思う。



金沢市地区赤十字のつどい チャリティーバザーを実施して

十一屋赤十字奉仕団 村田 保夫

金沢市地区のチャリティーバザーを、5月29日（日）にアルプラザ金沢店にて3年ぶりに開催しました。この度、初めての参加でしたが実行委員長はじめ金沢市地区Bブロックの奉仕団の方たちと事前の打ち合わせから搬入、設営、当日の運営と責任をもって活動できたと思います。また、「ウクライナ人道危機で苦しんでいる人々を救おう!」の主旨にご理解いただき、ご来場・ご購入いただいたお客様、売り場を提供いただいたアルプラザ金沢店様に感謝いたします。



加賀地区赤十字のつどい ウクライナ人道危機救援金街頭募金を実施して

松任ふれあい赤十字奉仕団 谷 健一

5月29日、加賀地区赤十字奉仕団が合同でイオンモール白山、A コープ蝶屋店、道の駅こまつ木場潟にてウクライナ人道危機救援金街頭募金を実施しました。多くの方が募金をしてくださり、平和への願いもより一層強くなりました。一日でも早く穏やかな日々に戻ってほしいと願うばかりです。

今回、各奉仕団それぞれの地区で募金活動を行いました。同じ気持ちで募金活動を行うことで、加賀地区赤十字奉仕団のつながりも感じました。



❁ 能登地区赤十字のつどいは10月16日（日）、輪島市 輪島市文化会館で開催予定です。

第3ブロック支部青年奉仕団会議に参加して

星稜大学学生赤十字奉仕団 谷内 さやか

6月25、26日に長野県支部で開催された第3ブロック支部青年奉仕団会議に参加させていただきました。普段関わらない他県の青年奉仕団の方達と関わらせてもらい、いろんな考え方に触れることができました。特に印象に残っているのは、それぞれの奉仕団が抱える問題について話し合うグループディスカッションです。そこでは自分では思いつかないような意見がたくさんあり、より深く赤十字奉仕団としてのあり方を考えることができました。また、休憩中にも他の奉仕団の方と話すことができ友好関係を広げる良いきっかけになりました。またこのような機会があれば参加したいです。



ツエーゲン金沢 赤十字応援試合での活動

青年赤十字奉仕団 山田 彩千乃

赤十字月間に開催されたツエーゲン金沢の赤十字応援試合にて、ウクライナ人道危機支援金募金活動を行いました。活動中、募金に協力していただいた方々の困っている人のために何かしてあげたいという思いが伝わってきて心が温まりました。

募金活動は、支援を必要とする人への募金を集めるというだけではなく、多くの人に困っている人がいることに気づき考えてもらうきっかけでもありと考えています。多くの方々にとって、ウクライナのこと、赤十字のことを知り、考えるきっかけになればと思います。



ACTION!無病息災プロジェクトで野菜づくりを始めて

かほく市赤十字奉仕団 藤田 すみ子

県支部の新たな事業「ACTION!無病息災」、野菜づくりや各種教室を通して健康増進を図るという趣旨に賛同し、モデル奉仕団としてまずは野菜づくりを始めました。

市内の遊休農地を無償で借り、農業に熟知している団員の指導のもとネギ 550 本、さつまいも 250 本、キャベツ 25 本を植えました。

子育てをする思いで苗の生育を観察し、思いを寄せて見守っています。10月には仲間との連携を共有し、収穫祭を迎えられる喜び、ワクワク感を今から感じています。また、能登地区“赤十字のつどい”にて、さつまいもの販売を予定しております。



ACTION!4PROJECT

石川県支部では、社会変化を背景とした地域課題の解決に積極的にチャレンジし、より良い地域づくりに貢献していきます。その活動のベースとなるのが、4つの ACTION プロジェクト（防災・減災、人命救助、感染防止、無病息災）です。住民、企業、行政、赤十字の4者が緊密に連携しながら、これらの活動を展開していきます。

あとかき

8月の大雨により県内でも大きな被害が発生しました。被災地の少しでも早い復旧を願っております。

編集委員 寺本、村中、田中、北村、吉本

※日赤石川県支部のホームページからも奉仕団だよりを閲覧することができます。

